



建交労の全国的なたたかいに結集しよう！ 核兵器廃絶を求めるヒバクシャの国際署名

人類は今、破滅への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。現存する 1 万数千発の核兵器の破壊力は、広島・長崎の 2 発の原爆の数万倍にもおよびます。

平均年齢 80 歳を超えた被爆者は、後世のんびとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

以上の文章は「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」（別紙）の呼びかけ文から抜粋したものです。県南支部のすべての組合員と家族、友人・知人などを対象に建交労の目標である組合員数の 10 倍の署名をやり切りましょう。

なくせじん肺・アスベストを追求する請願署名

じん肺は、人類最古にして今なお最大の職業病です。また、アスベストは、じん肺の原因となり、強い発がん性を有していますが、国の不十分な対応によって多数の被害が発生しています。今年も 10 月 2 日から 19 日にかけて、第 28 回なくせじん肺全国キャラバンを実施して 19 日の東京集結集会には、国会請願デモをおこない、賛同議員へキャラバン期間中に集まった「じん肺とアスベスト被害根絶を求める請願」署名（別紙）を提出します。県南支部の全分会で請願署名の取り組みを強化しましょう。

なお集約した署名用紙は 10 月 5 日（木）までの支部到着を厳守してお送りください。

土浦日大事件の緊急署名 8 月 15 日必着で現地へ

土浦日大から不当に解雇された砂岡孝治さんの解雇撤回を求める署名（別紙）は、緊急の要請です。各分会は、8 月 10 日厳守で県南支部事務所に送るか、10 日に間に合わない場合は下記の宛先に 8 月 15 日の必着で送ってください。

署名送り先住所 〒310-0804 茨城県水戸市白梅 4 - 1 - 28 東洋ハウジングビル 4 F
茨城県私立学校教職員組合連合 電話&FAX : 029-231- 5998

杉本綾さんの過労死労災不支給取り消しを求める

県南支部は、新卒看護師（杉本綾さん：当時 23 歳）の過労自死事件に関わる裁判闘争を支援する北海道医労連の「新卒看護師・支援する会」の要請に応じて「杉本彩さんの過労死労災不支給処分取り消し事件公正な判決によって過労死のない職場をつくるための要請署名（別紙：団体署名と個人署名）」のとりくみを推進します。

請 願 項 目

じん肺法施行後 57 年を経た今もなお、じん肺が発生し続けていることを踏まえて、じん肺やアスベスト被害の根絶に向けたじん肺法や関連法令の改正を行うこと。

- 1 「石綿による健康被害の救済に関する法律」を抜本的に改正して「石綿対策基本法」を制定し、公害健康被害補償法による補償と同等にするなど救済内容を充実させ、予防対策も十分なものとする。
- 2 トンネル建設労働者の健康・教育・就労などを一元的に管理し、じん肺根絶とじん肺被災者の早期救済を図る「トンネルじん肺基金」を創設すること。
- 3 建設アスベスト被害者補償基金を早急に創設すること。
- 4 建築物に含まれるアスベストによる居住者・住民の健康被害を調査し、その健康被害を防止するために十分な法的措置をとること。

氏 名	住 所

2017年 月 日 衆議院議長 殿
参議院議長 殿

(取扱事務局) 東京都新宿区四谷 2-8 第 2 河上ビル 5 階
全国じん肺弁護団連絡会議

水戸地方裁判所土浦支
松田典浩裁判長

要 請 書

<要請趣旨>

土浦日大事件の早期解決および公正な裁判を行うためには、原告砂岡孝治さんの解雇に最も深く関与した上浦日本大学学園理事長の佐藤豊さんを法廷で尋問し、解雇の理由や経過を直接問いただすことが是非とも必要であると考えます。

砂岡さん解雇に至る現裁判では、砂岡さんがどのような言動をとっていたかといった事実関係については、双方に大きな食い違いはありません。問題はそれがどうして解雇という最悪の結果になったのかという理事会の判断にあります。

このことについて、土浦日本大学教職員組合および上部団体は平成27年8月10日の団体交渉を通して、解雇に至る経緯や理事会での議論について回答を求めました。しかしながら、出席した一理事や事務局長からは「解雇を決定する理事会をいつ開いたか」という組合からの初歩的な質問に対してすら「わからない」としてまともに誠実に答えることができませんでした。

すべては理事長である佐藤豊さんがその絶対的な権力と地位から判断したことであり、今回、原告砂岡さん側が申請した佐藤豊理事長の尋問を行わなければ、部下である一理事や一職員では、不当解雇に至った経緯の詳細は永久に明らかにされないでしょう。

解雇されるということは、解雇された本人の生活を脅かすだけでなく、将来の希望も生活設計も奪うものです。本件解雇について裁判所が公正な判断を下すには、佐藤豊理事長の尋問が不可欠です。

<要請事項>

以上の理由により、裁判長の公正なるご決断を強く期待し、下記事項を要請します。原告側の申請を採用し、土浦日本大学学園佐藤豊理事長本人を召喚して尋問し、不当解雇に至る経緯や判断理由を明らかにしてください。

団体名

所在地

代表者印

取り扱い団体茨城県私立学校教職員組合連合

連絡先:〒310-0804 茨城県水戸市白梅4-1-28 東洋ハウジングビル4F 電話&FAX:029-231-5998

水戸地方裁判所土浦支
部松田典浩裁判長

要 請 書

<要請趣旨>

土浦日大事件の早期解決および公正な裁判を行うためには、原告砂岡孝治さんの解雇に最も深く関与した上浦日本大学学園理事長の佐藤豊さんを法廷で尋問し、解雇の理由や経過を直接問いただすことが是非とも必要であると考えます。

砂岡さん解雇に至る現裁判では、砂岡さんがどのような言動をとっていたかといった事実関係については、双方に大きな食い違いはありません。問題はそれがどうして解雇という最悪の結果になったのかという理事会の判断にあります。

このことについて、土浦日本大学教職員組合および上部団体は平成 27 年 8 月 10 日の団体交渉を通して、解雇に至る経緯や理事会での議論について回答を求めました。しかしながら、出席した一理事や事務局長からは「解雇を決定する理事会をいつ開いたか」という組合からの初歩的な質問に対してすら「わからない」としてまともに誠実に答えることができませんでした。

すべては理事長である佐藤豊さんがその絶対的な権力と地位から判断したことであり、今回、原告砂岡さん側が申請した佐藤豊理事長の尋問を行わなければ、部下である一理事や一職員では、不当解雇に至った経緯の詳細は永久に明らかにされないでしょう。

解雇されるということは、解雇された本人の生活を脅かすだけでなく、将来の希望も生活設計も奪うものです。本件解雇について裁判所が公正な判断を下すには、佐藤豊理事長の尋問が不可欠です。

<要請事項>

以上の理由により、裁判長の公正なるご決断を強く期待し、下記事項を要請します。原告側の申請を採用し、土浦日本大学学園佐藤豊理事長本人を召喚して尋問し、不当解雇に至る経緯や判断理由を明らかにしてください。

氏 名

住 所

取り扱い団体茨城県私立学校教職員組合連合

連絡先:〒310-0804 茨城県水戸市白梅 4-1-28 東洋ハウジングビル 4 F 電言&FAX: 029-23 5998

平成28年（行ウ）第41号
遺族補償給付等不支給処分取消請求訴訟事件
札幌地方裁判所 民事第5部 裁判官 御中

杉本 綾さんの過労死労災不支給処分取り消し事件

公正な判決によって過労死のない職場をつくるための要請署名

亡杉本 綾さんは、平成24年4月、新卒看護師として急性期医療を担う地域の基幹病院であるKKR 札幌医療センターに勤務し、1ヶ月後から90時間を超える時間外労働を行うなど、過重な業務による肉体的・精神的負荷に追い詰められ、12月に過労自死しました。

綾さんの月平均時間外労働は80時間を超えるとともに、自宅でも膨大な復習と翌日の業務準備のためのシャドゥワークを行っていました。毎日の振り返りシートには、「時間に追われている」「時間が足りなく、パニックになってしまう」などと記載されていました。7月から入った二交替勤務の夜勤は、18時間を超える連続勤務となり、生活すべてを看護師としての業務にささげていました。綾さんは「自分が大嫌いで、何を考えて、何をしたいのか、何ができるのか全然わからなくて・・・」と遺書を残し自死しました。

綾さんの自死は、明らかに業務に内在する危険性が発現したものであるにも係わらず、原告(母親)が請求した労災の遺族補償給付等の請求は不支給処分となりました。

貴裁判所におかれましては、新卒看護師であった綾さんの業務実態とそこでの肉体的・精神的負荷の重さを明らかにし、公正な判決を出していただきますようお願いいたします。

氏 名	住 所

<署名集約先>

北海道医労連：〒060-0909 札幌市東区北9条東1丁目2-22 ☎011-721-6178

いの健道センター：〒003-0803 札幌市白石区菊水3条3丁目2-40 ☎011-825-4032

杉本 綾さんの過労死労災不支給処分取り消し事件

公正な判決によって過労死のない職場をつくるための要請署名

亡杉本 綾さんは、平成24年4月、新卒看護師として急性期医療を担う地域の基幹病院である KKR 札幌医療センターに勤務し、1ヶ月後から90時間を超える時間外労働を行うなど、過重な業務による肉体的・精神的負荷に追い詰められ、12月に過労自死しました。

綾さんの月平均時間外労働は80時間を超えるとともに、自宅でも膨大な復習と翌日の業務準備のためのシャドウワークを行っていました。毎日の振り返りシートには、「時間に追われている」「時間が足りなく、パニックになってしまう」などと記載がされていました。

7月から入った二交替勤務の夜勤は、18時間を超える連続勤務となり、生活すべてを看護師としての業務にささげていました。綾さんは「自分が大嫌いで、何を考えて、何をしたいのか、何ができるのか全然わからなくて・・・」と遺書を残し自死しました。

綾さんの自死は明らかに業務に内在する危険性が発現したものであるにも関わらず、原告

(母親)が請求した労災の遺族補償給付等の請求は不支給処分となりました。

貴裁判所におかれましては、新卒看護師であった綾さんの業務実態とそこでの肉体的・精神

的負荷の重さを明らかにされ、公正な判決を出していただきますようお願いいたします。

年 月 日

住 所 :

団体名 :

代表者 :

<署名集約先>

北海道医労連 : 〒060-0909 札幌市東区北9条東1丁目2-22 ☎011-721-6178

いの健道センター : 〒003-0803 札幌市白石区菊水3条3丁目2-40 ☎011-825-4032

被爆者は
核兵器廃絶を心から求めます



いわさきちひろ チューリップとあかちゃん (1971 年)

国際署名にご協力を

ヒバクシャ国際署名キャンペーン

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6F

日本原水協気付 Tel.03-5842-6031 <http://www.antiatom.org/>



被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、 核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、 すべての国に求めます。

人類は今、破滅への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。

1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人びとを無差別に殺傷しました。真っ黒に焦げ炭になった屍、ずるむけのからだ、無言で歩きつづける人びとの列。生き地獄そのものでした。生きのびた人も、次から次と倒れていきました。70年が過ぎた今も後障害にさいなまれ、子や孫への不安のなか、私たちは生きぬいてきました。もうこんなことは、たくさんです。

沈黙を強いられていた被爆者が、被爆から11年後の1956年8月に長崎に集まり、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）を結成しました。そこで「自らを救い、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と誓い、世界に向けて「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えつづけてきました。被爆者の心からの叫びです。

しかし、地球上では今なお戦乱や紛争が絶えず、罪のない人びとが命を奪われています。核兵器を脅迫に使ったり、新たな核兵器を開発する動きもあります。現存する1万数千発の核兵器の破壊力は、広島・長崎の2発の原爆の数万倍にもおよびます。核兵器は、人類はもとより地球上に存在するすべての生命を断ち切り、環境を破壊し、地球を死の星にする悪魔の兵器です。

人類は、生物兵器、化学兵器について、使用、開発、生産、保有を条約、議定書などで禁じて来ましたが、それらをはるかに上回る破壊力をもつ核兵器を禁じることに何のためらいが必要でしょうか。被爆者は、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。あなたとあなたの家族、すべての人びとを絶対に被爆者にしてはなりません。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

2016年4月

よびかけ被爆者代表：坪井直、谷口稔暉、岩佐幹三（以上、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）・代表委員）、田中熙巳（日本被団協・事務局長）、郭貴勲（韓国原爆被害者協会・名誉会長）、向井司（北米原爆被害者の会・会長）、森田隆（ブラジル被爆者平和協会・会長）、サーロー・セツコ（カナダ在住）、山下泰昭（メキシコ在住）

私は被爆者の訴えに賛同して署名します

名 前	住 所	募金

ご記入いただいたお名前や住所など個人情報は、この要請目的以外には使用しません。みなさんの署名は、毎年の国連総会に提出いたします。

【取扱団体】

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 ☎03-5842-6031